

ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイー Aコース（為替ヘッジあり） Bコース（為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版） 第19期

（決算日 2021年11月29日）
（作成対象期間 2021年5月29日～2021年11月29日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

Aコース (為替ヘッジあり)

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
15期末 (2019年11月28日)	12,243	200	9.9	23,668	11.6	96.3	—	1,094
16期末 (2020年5月28日)	11,444	0	△ 6.5	22,787	△ 3.7	94.8	—	964
17期末 (2020年11月30日)	13,502	1,000	26.7	27,306	19.8	94.7	—	1,075
18期末 (2021年5月28日)	15,095	1,600	23.6	31,528	15.5	91.6	—	1,148
19期末 (2021年11月29日)	14,122	600	△ 2.5	34,483	9.4	88.4	—	1,060

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

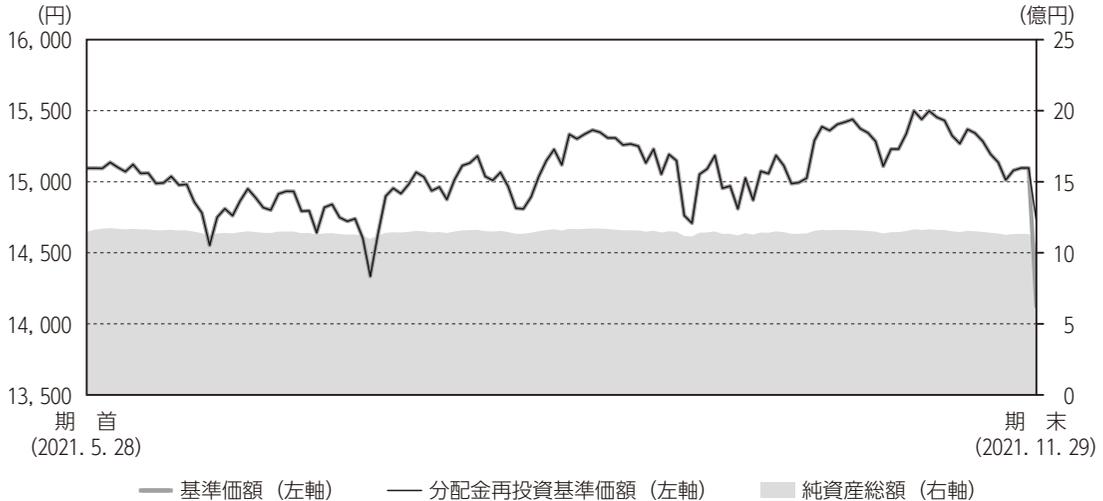
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：15,095円

期末：14,122円 (分配金600円)

騰落率：△2.5% (分配金込み)

■ 基準価額の変動要因

米国株式市況は上昇しましたが、保有株式が相対的に軟調に推移したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Aコース (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2021年 5月28日	円	%		%	%	%
	15,095	—	31,528	—	91.6	—
5月末	15,095	0.0	31,552	0.1	90.3	—
6月末	14,818	△ 1.8	32,211	2.2	90.2	—
7月末	15,067	△ 0.2	33,166	5.2	90.7	—
8月末	15,302	1.4	33,989	7.8	91.4	—
9月末	14,970	△ 0.8	32,718	3.8	95.2	—
10月末	15,230	0.9	34,497	9.4	93.8	—
(期 末) 2021年11月29日	14,722	△ 2.5	34,483	9.4	88.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021. 5. 29 ~ 2021. 11. 29)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から、堅調な経済指標の発表が続いたことなどにより、2021年9月初めにかけて断続的に史上最高値を更新しました。その後は、世界的なインフレ懸念を受けて米国の量的金融緩和の早期縮小観測が強まり金利が上昇したことや、米国連邦政府の債務上限問題および増税に対する不透明感が高まったことなどから、9月末にかけて株価は下落しました。10月に入ると、債務上限の適用が一時的に先送りされたことや、良好な企業決算の発表が相次いだことなどから、11月初めにかけて株価は再び上昇しました。当作成期末にかけては、CPI（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから、株価は下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

■ ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2021. 5. 29 ~ 2021. 11. 29)

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

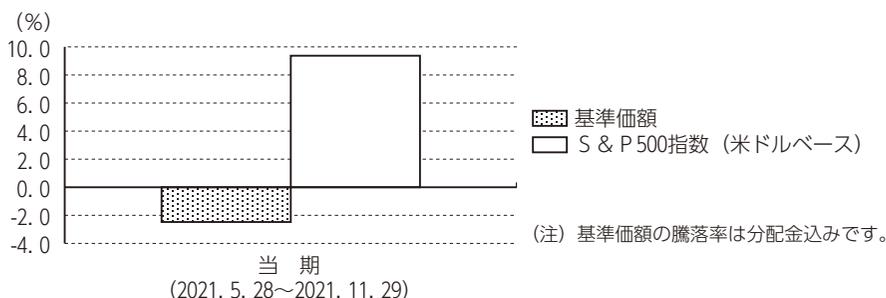
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、FISERV (情報技術)、KEURIG DR PEPPER (生活必需品)などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期	
	2021年5月29日 ～2021年11月29日	
当期分配金(税込み)	(円)	600
対基準価額比率	(%)	4.08
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	600
翌期繰越分配対象額	(円)	4,225

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程(1万口当り)

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	967.13
(d) 分配準備積立金	✓ 3,858.55
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	4,825.69
(f) 分配金	600.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	4,225.69

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 5. 29~2021. 11. 29)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	145円	0.964%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は15,054円です。
(投 信 会 社)	(82)	(0.546)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(59)	(0.390)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.013	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.013)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	3	0.019	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	150	0.997	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

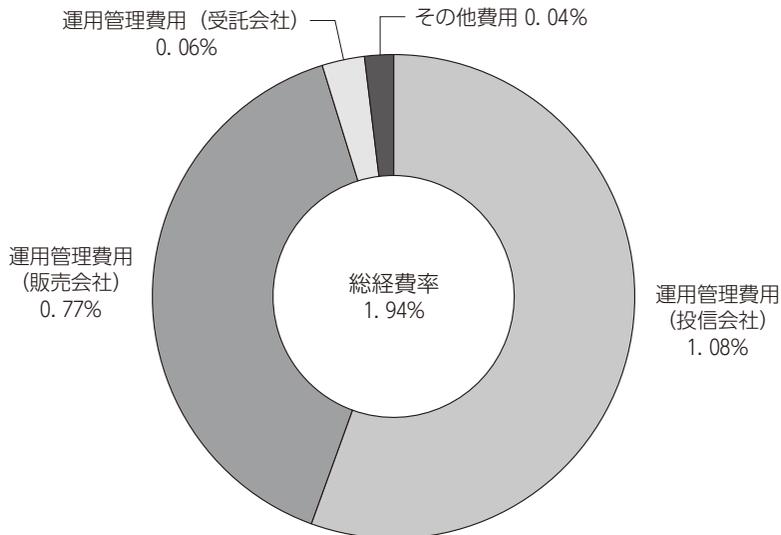
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Aコース (為替ヘッジあり)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年5月29日から2021年11月29日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	4,448	24,000	30,796	175,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年5月29日から2021年11月29日まで)

項 目	当 期	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	3,400,346千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,031,650千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.67	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	211,959	185,610	1,026,280

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年11月29日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	1,026,280	91.0
コール・ローン等、その他	101,562	9.0
投資信託財産総額	1,127,842	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月29日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.77円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,514,147千円)の投資信託財産総額(5,052,021千円)に対する比率は、89.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年11月29日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,144,104,370円
コール・ローン等	931,385
ダイワ米国厳選株 マザーファンド(評価額)	1,026,280,308
未収入金	1,116,892,677
(B) 負債	1,084,030,559
未払金	1,027,882,628
未払収益分配金	45,038,839
未払解約金	15,097
未払信託報酬	11,062,124
その他未払費用	31,871
(C) 純資産総額(A-B)	1,060,073,811
元本	750,647,318
次期繰越損益金	309,426,493
(D) 受益権総口数	750,647,318口
1万口当り基準価額(C/D)	14,122円

* 期首における元本額は760,642,962円、当作成期間中における追加設定元本額は20,791,975円、同解約元本額は30,787,619円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,122円です。

■損益の状況

当期 自2021年5月29日 至2021年11月29日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,160円
受取利息	48
支払利息	△ 1,208
(B) 有価証券売買損益	△ 16,841,416
売買益	54,903,015
売買損	△ 71,744,431
(C) 信託報酬等	△ 11,104,460
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 27,947,036
(E) 前期繰越損益金	289,641,296
(F) 追加信託差損益金	92,771,072
(配当等相当額)	(72,597,899)
(売買損益相当額)	(20,173,173)
(G) 合計(D+E+F)	354,465,332
(H) 収益分配金	△ 45,038,839
次期繰越損益金(G+H)	309,426,493
追加信託差損益金	92,771,072
(配当等相当額)	(72,597,899)
(売買損益相当額)	(20,173,173)
分配準備積立金	244,602,457
繰越損益金	△ 27,947,036

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 3,377,947円(未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	72,597,899
(d) 分配準備積立金	289,641,296
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	362,239,195
(f) 分配金	45,038,839
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	317,200,356
(h) 受益権総口数	750,647,318口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	600円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

Bコース (為替ヘッジなし)

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
15期末 (2019年11月28日)	12,912	200	11.0	32,563	11.4	95.2	—	2,707
16期末 (2020年5月28日)	11,828	0	△ 8.4	30,929	△ 5.0	94.9	—	2,373
17期末 (2020年11月30日)	13,753	650	21.8	35,679	15.4	95.9	—	2,654
18期末 (2021年5月28日)	16,305	1,700	30.9	43,607	22.2	90.5	—	3,168
19期末 (2021年11月29日)	15,169	1,300	1.0	49,342	13.2	88.0	—	2,912

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

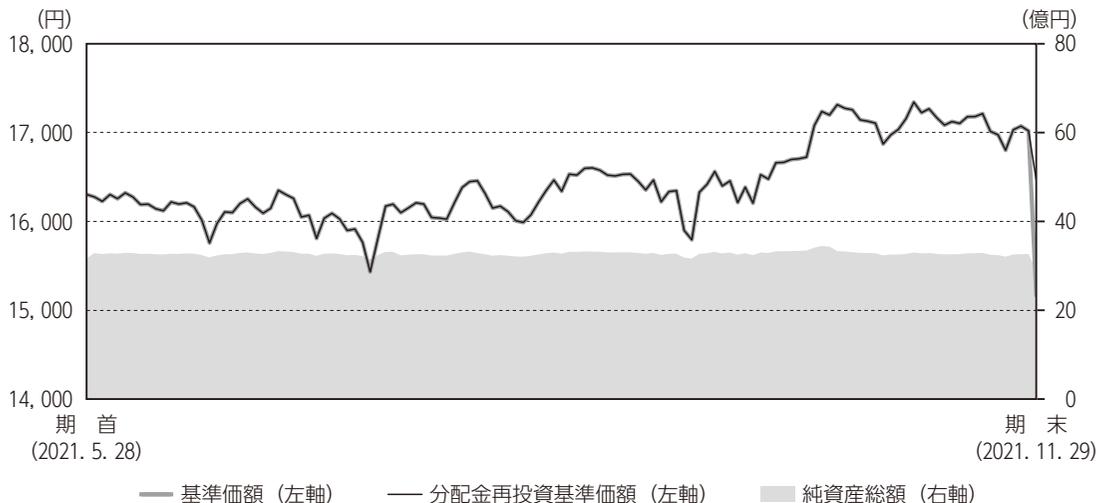
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：16,305円

期末：15,169円（分配金1,300円）

騰落率：1.0%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

保有株式は相対的に軟調に推移しましたが、為替が円安米ドル高に推移したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)		
(期 首) 2021年 5月28日	円	%			%	%
	16,305	—	43,607	—	90.5	—
5月末	16,277	△ 0.2	43,557	△ 0.1	86.9	—
6月末	16,095	△ 1.3	44,797	2.7	90.1	—
7月末	16,211	△ 0.6	45,672	4.7	91.1	—
8月末	16,524	1.3	46,980	7.7	90.8	—
9月末	16,459	0.9	46,055	5.6	93.2	—
10月末	16,978	4.1	49,318	13.1	93.3	—
(期 末) 2021年11月29日	16,469	1.0	49,342	13.2	88.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021. 5. 29 ~ 2021. 11. 29)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から、堅調な経済指標の発表が続いたことなどにより、2021年9月初めにかけて断続的に史上最高値を更新しました。その後は、世界的なインフレ懸念を受けて米国の量的金融緩和の早期縮小観測が強まり金利が上昇したことや、米国連邦政府の債務上限問題および増税に対する不透明感が高まったことなどから、9月末にかけて株価は下落しました。10月に入ると、債務上限の適用が一時的に先送りされたことや、良好な企業決算の発表が相次いだことなどから、11月初めにかけて株価は再び上昇しました。当作成期末にかけては、CPI（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから、株価は下落しました。

■ 為替相場

米ドル為替相場は、当作成期を通して見ると対円で上昇（円安）しました。

当作成期首より、世界的に新型コロナウイルスのワクチン接種が進む中で、世界経済への楽観的な見方が強まったことが円安要因となり、米ドルは上昇しました。2021年7月以降は、新規感染者数の増加を受けた景気への懸念や米国金利の低下などから、米ドルは小幅に下落（円高）しました。しかし9月には、利上げ観測の高まりなどから米ドルは上昇しました。10月以降も、日米金融政策の方向性の違いを要因として、上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調

整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2021. 5. 29 ~ 2021. 11. 29)

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

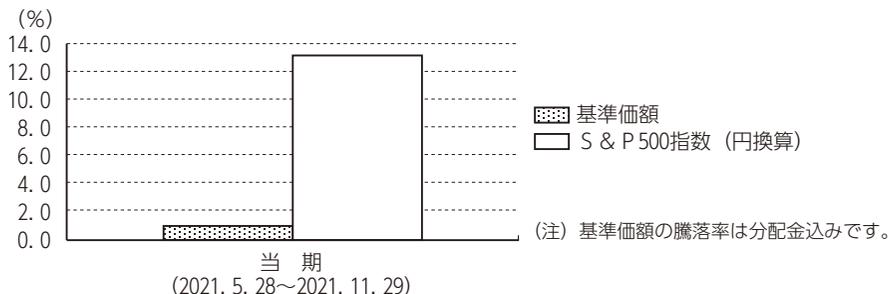
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、FISERV (情報技術)、KEURIG DR PEPPER (生活必需品)などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年5月29日 ～2021年11月29日	
当期分配金（税込み）	（円）	1,300
対基準価額比率	（%）	7.89
当期の収益	（円）	154
当期の収益以外	（円）	1,145
翌期繰越分配対象額	（円）	5,168

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	27.20円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	127.21
(c) 収益調整金		2,531.09
(d) 分配準備積立金	✓	3,783.39
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		6,468.89
(f) 分配金		1,300.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		5,168.89

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 5. 29～2021. 11. 29)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	159円	0.964%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16,442円です。
(投 信 会 社)	(90)	(0.546)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(64)	(0.390)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.013	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.013)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	3	0.018	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	164	0.996	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

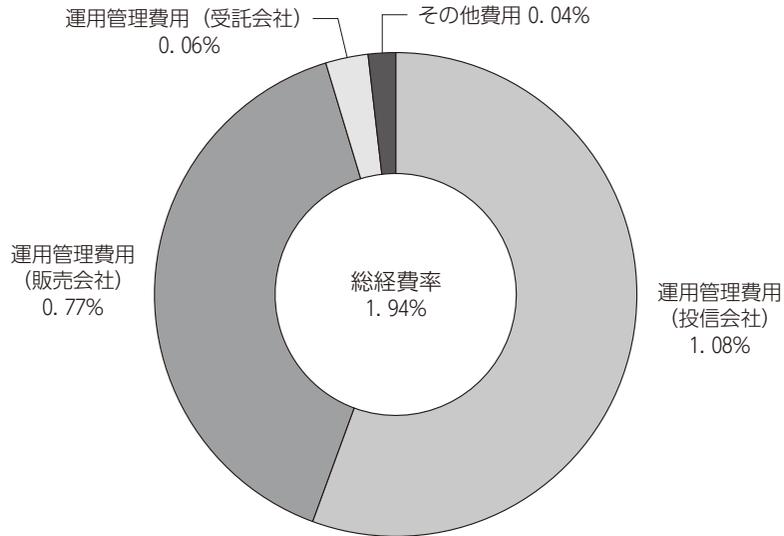
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年5月29日から2021年11月29日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	43,541	238,000	113,799	649,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年5月29日から2021年11月29日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,400,346千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,031,650千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.67

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	578,219	507,961	2,808,621

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年11月29日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	2,808,621	87.9
コール・ローン等、その他	386,163	12.1
投資信託財産総額	3,194,784	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月29日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.77円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,514,147千円)の投資信託財産総額(5,052,021千円)に対する比率は、89.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年11月29日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,194,784,455円
コール・ローン等	43,163,442
ダイワ米国厳選株 マザーファンド (評価額)	2,808,621,013
未収入金	343,000,000
(B) 負債	282,023,847
未払収益分配金	249,628,456
未払解約金	703,700
未払信託報酬	31,600,447
その他未払費用	91,244
(C) 純資産総額 (A - B)	2,912,760,608
元本	1,920,218,899
次期繰越損益金	992,541,709
(D) 受益権総口数	1,920,218,899口
1万口当り基準価額 (C / D)	15,169円

* 期首における元本額は1,943,244,136円、当作成期間中における追加設定元本額は273,608,377円、同解約元本額は296,633,614円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,169円です。

■損益の状況

当 期 自2021年5月29日 至2021年11月29日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,085円
受取利息	683
支払利息	△ 6,768
(B) 有価証券売買損益	61,348,229
売買益	72,840,255
売買損	△ 11,492,026
(C) 信託報酬等	△ 31,691,691
(D) 当期損益金 (A + B + C)	29,650,453
(E) 前期繰越損益金	726,494,478
(F) 追加信託差損益金	486,025,234
(配当等相当額)	(394,994,065)
(売買損益相当額)	(91,031,169)
(G) 合計 (D + E + F)	1,242,170,165
(H) 収益分配金	△ 249,628,456
次期繰越損益金 (G + H)	992,541,709
追加信託差損益金	486,025,234
(配当等相当額)	(394,994,065)
(売買損益相当額)	(91,031,169)
分配準備積立金	506,516,475

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 9,564,547円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	5,223,248円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	24,427,205
(c) 収益調整金	486,025,234
(d) 分配準備積立金	726,494,478
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,242,170,165
(f) 分配金	249,628,456
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	992,541,709
(h) 受益権総口数	1,920,218,899口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	1,300円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第19期 (決算日 2021年11月29日)

(作成対象期間 2021年5月29日～2021年11月29日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

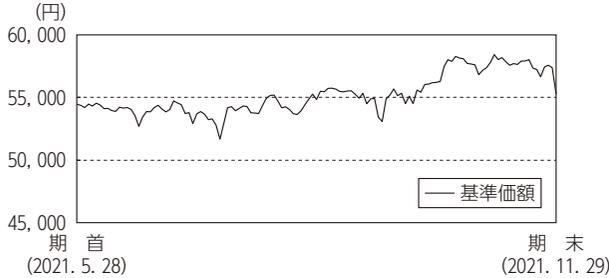
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		S & P 500指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2021年5月28日	54,446	%	43,607	%	91.1	%
5月末	54,359	△ 0.2	43,557	△ 0.1	91.1	—
6月末	53,834	△ 1.1	44,797	2.7	90.7	—
7月末	54,306	△ 0.3	45,672	4.7	91.5	—
8月末	55,455	1.9	46,980	7.7	91.3	—
9月末	55,325	1.6	46,055	5.6	93.5	—
10月末	57,163	5.0	49,318	13.1	93.3	—
(期末) 2021年11月29日	55,292	1.6	49,342	13.2	91.3	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：54,446円 期末：55,292円 騰落率：1.6%

【基準価額の主な変動要因】

保有株式は相対的に軟調に推移しましたが、為替が円安米ドル高に推移したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当期中期首から、堅調な経済指標の発表が続いたことなどにより、2021年9月初めにかけて断続的に史上最高値を更新しました。その後は、世界的なインフレ懸念を受けて米国の量

的金融緩和の早期縮小観測が強まり金利が上昇したことや、米連邦政府の債務上限問題および増税に対する不透明感が高まったことなどから、9月末にかけて株価は下落しました。10月に入ると、債務上限の適用が一時的に先送りされたことや、良好な企業決算の発表が相次いだことなどから、11月初めにかけて株価は再び上昇しました。当期中期末にかけては、CPI (消費者物価指数) の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから、株価は下落しました。

○ 為替相場

米ドル為替相場は、当期中期を通して見ると対円で上昇 (円安) しました。

当期中期首より、世界的に新型コロナウイルスのワクチン接種が進む中で、世界経済への楽観的な見方が強まったことが円安要因となり、米ドルは上昇しました。2021年7月以降は、新規感染者数の増加を受けた景気への懸念や米国金利の低下などから、米ドルは小幅に下落 (円高) しました。しかし9月には、利上げ観測の高まりなどから米ドルは上昇しました。10月以降も、日米金融政策の方向性の違いを要因として、上昇しました。

◆ 前期中期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が堅固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

◆ ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当期中期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、FISERV (情報技術)、KEURIG DR PEPPER (生活必需品)などを高位で組み入れました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期中期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中期の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が堅固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	7円 (7)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	8 (8) (0)
合 計	16

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2021年5月29日から2021年11月29日まで)

国	株 数	買 付		売 付	
		金 額	株 数	金 額	株 数
外国	アメリカ	百株 1,264.05 ()	千アメリカ・ドル 9,143 ()	百株 1,676	千アメリカ・ドル 21,363

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2021年5月29日から2021年11月29日まで)

買 付	当 期			売 付	当 期		
	銘 柄	株 数	金 額		銘 柄	株 数	金 額
		千株	千円		千株	千円	円
			平均単価				平均単価
ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	1.955	528,591	270,379	ALPHABET INC-CL C (アメリカ)	2.085	585,240	280,690
FISERV INC (アメリカ)	14.195	166,584	11,735	ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	0.64	196,065	306,351
WENDY'S CO/THE (アメリカ)	63.79	161,242	2,527	AUTOMATIC DATA PROCESSING (アメリカ)	6.8	157,293	23,131
CDK GLOBAL INC (アメリカ)	23.805	119,842	5,034	WORKDAY INC-CLASS A (アメリカ)	5.065	154,491	30,501
GOHEALTH INC-CLASS A (アメリカ)	20.555	24,725	1,202	KEURIG DR PEPPER INC (アメリカ)	25.505	100,465	3,939
CITIGROUP INC (アメリカ)	2.105	15,514	7,370	FISERV INC (アメリカ)	8.36	97,803	11,698
				HCA HEALTHCARE INC (アメリカ)	3.43	90,656	26,430
				CBRE GROUP INC - A (アメリカ)	8.17	85,939	10,518
				CHARTER COMMUNICATIONS INC-A (アメリカ)	1	77,420	77,420
				META PLATFORMS INC CLASS A (アメリカ)	1.99	74,962	37,669

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
CITIGROUP INC	213.35	174.45	1,142	129,999	金融
AUTOMATIC DATA PROCESSING	110.6	42.6	978	111,287	情報技術
CDK GLOBAL INC	361.55	463.1	1,841	209,483	情報技術
POST HOLDINGS INC	155.2	113.85	1,162	132,311	生活必需品
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	120.1	85.2	1,160	132,031	一般職・サービス
WENDY'S CO/THE	—	552.15	1,177	133,928	一般職・サービス

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
HCA HEALTHCARE INC	110.93	76.63	1,770	201,390	ヘルスケア
FISERV INC	263.8	322.15	3,165	360,096	情報技術
ALPHABET INC-CL A	—	13.15	3,739	425,433	コミュニケーション・サービス
ALPHABET INC-CL C	20.85	—	—	—	コミュニケーション・サービス
META PLATFORMS INC CLASS A	74.75	54.85	1,827	207,876	コミュニケーション・サービス
MANPOWERGROUP INC	166.65	122.25	1,143	130,071	資本財・サービス
WORKDAY INC-CLASS A	50.65	—	—	—	情報技術

銘柄	期首		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千円	千円		
LIVANOVA PLC	201.2	147.6	1,230	139,981	ヘルスケア	
BOOKING HOLDINGS INC	8.64	6.34	1,366	155,480	一般消費サービス	
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	38.25	28.25	1,900	216,260	メディア・エンタテインメント	
CBRE GROUP INC - A	244.45	162.75	1,596	181,624	不動産	
GOHEALTH INC-CLASS A	1,197.55	1,289.9	459	52,243	金融	
NETFLIX INC	29.85	21.9	1,457	165,848	メディア・エンタテインメント	
BANK OF AMERICA CORP	455.8	334.35	1,529	174,066	金融	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	444.9	321.9	1,804	205,269	金融	
NOV INC	228.05	167.3	208	23,773	エネルギー	
KEURIG DR PEPPER INC	977.95	722.9	2,528	287,690	生活必需品	
SCHWAB (CHARLES) CORP	288.45	211.6	1,674	190,543	金融	
LEAR CORP	111.6	81.85	1,401	159,459	一般消費サービス	
COMCAST CORP-CLASS A	202.05	148.2	757	86,158	メディア・エンタテインメント	
ファンド	株数、金額	6,077.17	5,665.22	37,024	4,212,309	
合計	銘柄数<比率>	24銘柄	24銘柄		<91.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年11月29日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	4,212,309	83.4
コール・ローン等、その他	839,712	16.6
投資信託財産総額	5,052,021	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月29日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝113.77円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,514,147千円)の投資信託財産総額(5,052,021千円)に対する比率は、89.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年11月29日現在

項目	当期末
(A) 資産	5,052,021,194円
コール・ローン等	342,521,585
株式(評価額)	4,212,309,157
未収入金	497,190,452
(B) 負債	439,000,000
未払解約金	439,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	4,613,021,194
元本	834,307,621
次期繰越損益金	3,778,713,573
(D) 受益権総口数	834,307,621口
1万口当り基準価額(C/D)	55,292円

* 期首における元本額は1,113,513,513円、当作成期間中における追加設定元本額は58,882,598円、同解約元本額は338,088,490円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイ Aコース (為替ヘッジあり)

185,610,994円

ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイ Bコース (為替ヘッジなし)

507,961,552円

ダイワ米国厳選株パリュウ株ファンド (ダイワSMA専用)

140,735,075円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は55,292円です。

■損益の状況

当期 自2021年5月29日 至2021年11月29日

項目	当期
(A) 配当等収益	19,059,416円
受取配当金	18,653,652
受取利息	357
その他収益金	425,613
支払利息	△ 20,206
(B) 有価証券売買損益	76,130,006
売買益	513,989,778
売買損	△ 437,859,772
(C) その他費用	△ 843,542
(D) 当期損益金(A+B+C)	94,345,880
(E) 前期繰越損益金	4,949,161,801
(F) 解約差損益金	△ 1,526,911,510
(G) 追加信託差損益金	262,117,402
(H) 合計(D+E+F+G)	3,778,713,573
次期繰越損益金(H)	3,778,713,573

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。